

ビジネスアナリシス(BA)への主な特長	根拠 図番号はパンフレット・追加分に掲載
(目標) ビジネスアナリシスでIT投資効果の向上	・使われないITシステム機能を半減 ・BAでIT投資効果を米国並みに(現在は1/2以下)
1. ビジネスアナリシスの日本で唯一の方法論	戦略、プロセス・ルール、人・組織、ITが成果物 C00-50-11 他社はIT中心でかつ超上流だけをカバー IIBA日本支部BA方法論研究会で累計7回レクチャー
2. 業務の標準モデルとして、プロセス・ルールを含む業務参照モデルを内蔵している	図22 業務参照モデルのコンテンツ一覧 業務参照モデルはSCORをベースにレベル4を開発した 事例B 業務知識がほとんどないSEでもBAを実施できた
3. 事業目標、戦略、プロセス、ルール、IT、組織、人、設備などを対象とした成果物	最初はSCM方法論としてスタート。戦略を反映したプロセスからこれらの成果物を設計・定義する。BABOKでいうソリューションコンポーネントをカバー(ITだけではない)。
4. 4つのフェーズはプロジェクトライフサイクル(PLC)の考えに準拠	C90-01-01 プロジェクトライフサイクルでリスク軽減 図3 PLCに沿い4つのモデルを各フェーズで階層的に整合
5. 階層レベルの設定が国際標準で、戦略からプロセス、IT、さらにIoT連携までカバー	図26 米国BPTrends社のレベル0~6の定義 C40-04-03 企業全体から装置や人の動作までの階層
6. 階層アプローチによって、戦略をプロセス・ITに落とし込める	図25 要求の階層的定義(図3に対応) 業務参照モデルを利用、戦略をレベル1~4へ構造化 事例A,B 戦略を構造化、プロセス設計、IT構築
7. 各プロセス階層レベルで、トップダウンとボトムアップを融合できる	トップの曖昧な指示にボトムが提案するという、段階的な合意形成によって、解決策は必ず実行に移される 図27 各プロセス階層でのプロセスモデリング
8. エンジニアリング化された方法論なので未経験者でもビジネスアナリシスができる	図37 GUTSY-4方法論のコンテンツ一覧 図17 GUTSY-4におけるWBS・アクティビティ 事例B 4年生SEが作成した成果物一覧(図10) 事例C 2-3年生SEでもプロジェクトに参加可能と評価
9. 相手から気付きを引き出すファシリテーション中心なので、若手SEでも実施できる	図9 課題の質問シート、プロセス図、プロセス分析・設計 図35 プロセス定義からIT要求質問を生成 事例B 4年生SEがファシリテーション(WS風景写真あり)
10. WBS・アクティビティに付随したプラクティスにノウハウを格納済み	図18 説明・技法・ツール・リファレンス・事例 C00-10-11 技法・ツール等 合計750ページ C00-10-12 説明・コンセプト 合計600ページ
11. GUTSY-4利用企業の経験・ノウハウを組織的に蓄積できる	超上流クラウドサービス化 業界・業種別のSE編成はAI時代に対して非効率
12. レベル4の標準プロセス(EAのBAに相当)を定義できる	C40-04-02 全体最適から統制、部分最適の防止 欧米グローバル企業は自社のレベル4標準を持つ 日産は5年かけ自社で開発
13. 標準プロセスを利用して現状の調査・記述・分析を効率的かつ効果的にできる	図27 各階層でのプロセス調査、分析、設計のステップ 問題・課題が少ないプロセスは調査・記述しないで済む 事例C 過去プロジェクトと比較し、生産性2倍以上と評価
14. 業務モデリングとして、プロセス、ルール、情報、データを対象にできる	統制されたレベル4プロセスを基に業務モデリング 図28 階層的な業務モデリング 事例B 4年生SEが業務モデリング(WS写真、図10)
15. ビジネスプロセス定義から業務上必要なIT要求だけを引き出せる	図34,35,36 プロセス構成要素は間接的な業務観察法であり、必要なIT要求に関する質問を生成できる 事例4-3 IT要求定義のレビュー事例、これを発展させた
16. 意思決定業務をカバーするので攻めのIT利用を実現(AI、アナリティクス、ルールエンジン等)	【220-80】ボトルネックの特定、【235-30】利用可能なソリューションの探索、【360-30】ソリューションの種類の決定 事例A ベテラン暗黙知を形式知化、ETO品の売上8倍